

新潟県

公民館月報

昭和55年7月号

発行所 新潟県公民館連合会

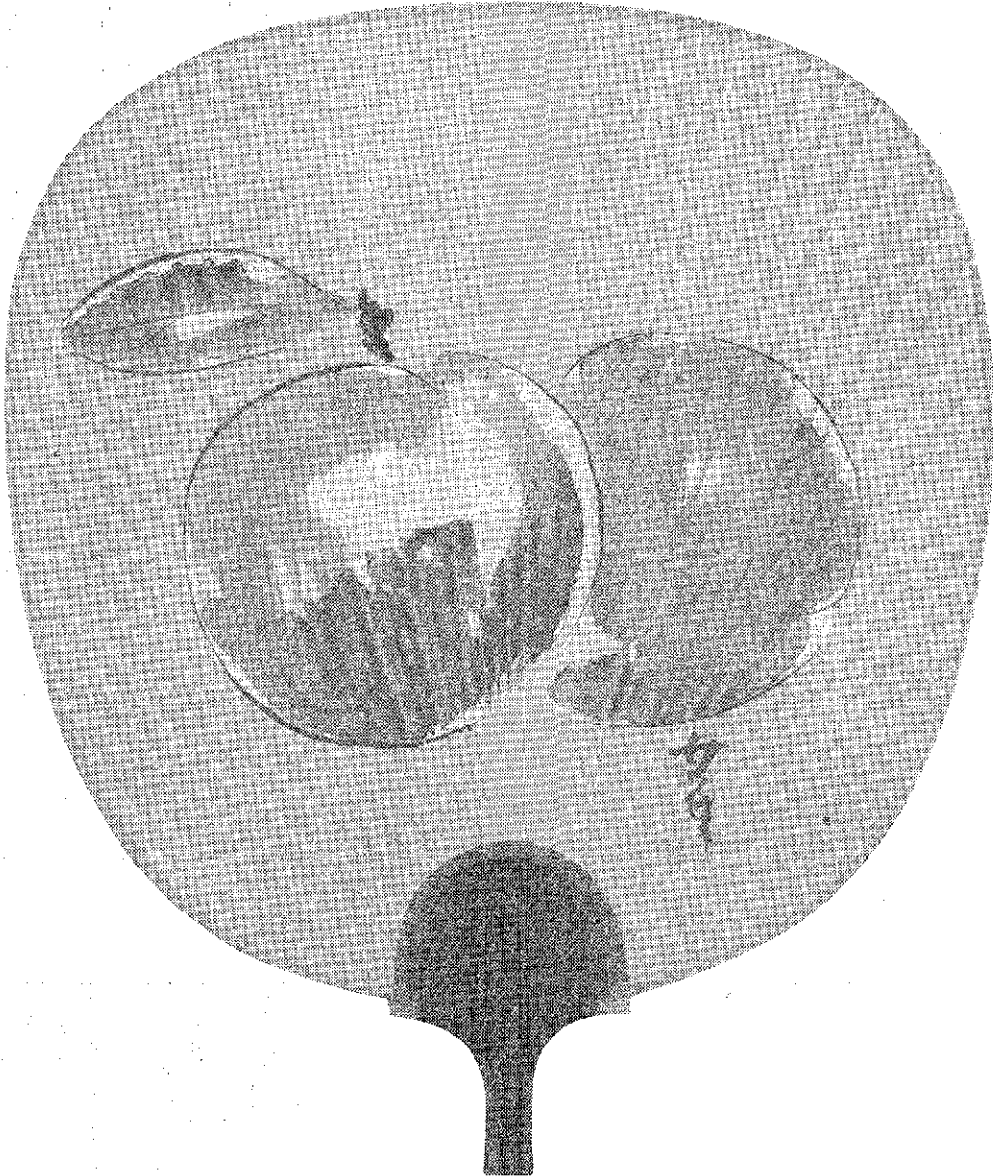
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟4094】

発行人 会長 石井耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年共 840円】



夏まつり

謙信公祭(7・22・23日)上越市

上杉謙信の居城であった春日山の春日山神社において、奉納武道大会が開かれる。謙信公出陣の儀式「武縮式」が再現され、市内を行進する。

馬市(7月23・24日)栃尾市

栃尾が謙信公の軍馬供給地として盛んであったことに由来する。

長岡まつり(8月1〜3日)

このまつりの庄巻は大河信濃川にかかる長生橋を中心にして行われる大花火大会で、日本では、ここだけにしか見られない正3尺玉が打ち上げられる。

新潟まつり(8月20〜23日)

大民謡流し、まつり行列市内パレード。花火大会(信濃川湖畔)。水上渡御。県都新潟市の祭にふさわしく、豪華な行事が展開される。

新発田市振興まつり(7月27〜29)

各町内から華麗なまつり台輪、それに50台近くの金魚台輪が勇壮に引きまわされ、民謡流しとともに町内がにぎわう。

諏訪神社

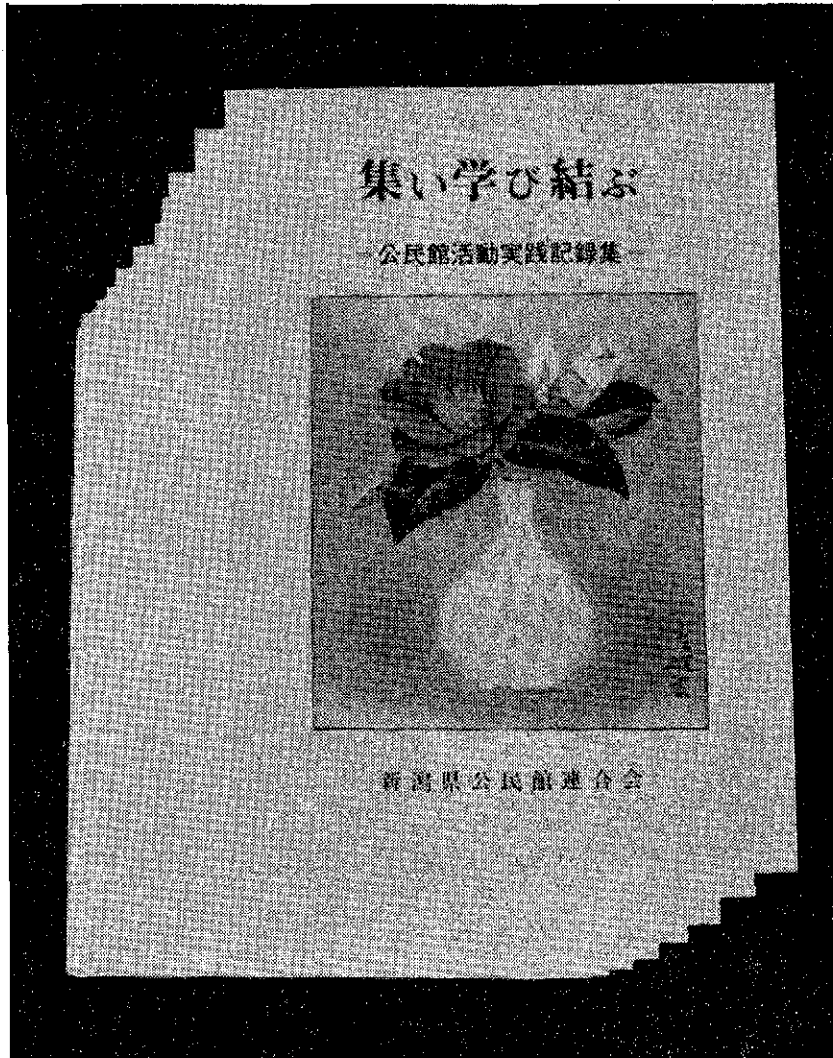
(新潟県大百科事典による)

絵・「実」横村華乱(柳都川柳社同人) 柏崎市中央公民館・俳画コース講師。

公民館活動実践記録集

「集い学び結ぶ」が完成

事業企画から実施までのテキストに最適



「集い学び結ぶ」の表紙はカラー印刷。番場春雄氏(日本画家)の筆になる県の木ユキツバキ。すっきりと美しい仕上り

同書目次の一部

一、公民館経営	新編中央公民館
(1) 施設整備	整備にともない並立館制へ
機構と施設の推移	都市化に対応する活動
	施設体系の整備が課題
	各地ごとに新拠点
	年次計画に乗った施設整備
	新生運動から分館建設へ
	土拓協会と資金部会が活躍
	念願の施設ができて
	部落自治に職員も一役
(2) 組織体制	名立町不動公民館
	規約守る自治公民館
	世帯廻しと交付金で運営
	館のない公民館活動
	組織と分館土着に依存
	部制施行の経緯と現状
	新しい時代へ脱皮めざす
	島民の創意を生かす
	かけがえのない文化施設
(3) 類以館	粟島浦村公民館
	各集落の意志を尊重
	点在する部落館を育成する
	朝日村公民館
二、家庭教育	
(1) 学級	
	おはあちゃんも出席する
	学級生と相談して通信
	子育てのホンス出しあう
	田上町公民館
	過疎地の母ちゃんたちの哀歌
	吉川町公民館
(2) 教室	
	父と子の運動教室
	スキミングの実験を提案
	夫婦で学ぶしつけ
	小千谷市公民館

の望待

オリジナル百編を集大成

県内の公民館活動の実際を記録した実践記録集が「集い学び結ぶ」と題して一冊の本になった。

B5版二百四十ページにもおよび公民館活動の実践記録は全国でもはじめてといわれるもので、関係者にとって本書発刊の意義は大きい。

この本は、本会が社会教育法三十周年を記念する特別事業として数年

前年から計画していたもので、県内市町村公民館から寄せられた百編ほどのオリジナルな実践記録原稿によって成ったもの。

内容は、①公民館経営 ②家庭教育 ③青少年教育 ④健康教育の方法 ⑤自治能力の育成 ⑥学修の運営 ⑦教室・講座の開設 ⑧新生活運動にとり組む ⑨芸術文化の高揚

⑩広報活動の十章に分類され、それぞれ現場で実際の活動に打ち込んでいる館長、主事などのベテランが執筆しており、現場での苦しみ、よるこびに満ちあふれた、好固の活動事例集となっている。

一千冊印刷のうち、県内市町村公民館に対して六百八十九冊が割り当て販売され、残りは、関東甲信越静公民館大会参加者や一般の希望者に販売される予定。

集い学び結ぶ

—はしがき—から

新潟県公民館連合会会長 石井 耕 一

公民館は、人びとの“出会い”を大切にすると同時に、地域の生活文化を高めるための新しい活力を養う場でもあるといわれます。

この本は、県内の公民館活動を支える人たちの英知と努力の総和によってもたらされた美しい果実のようなもので、公民館活動というものは、利用者と公民館の職員が一体となって取り組む“試行錯誤”のくりかえしの中から生み出されていくものであることを教えてくれています。

これまで、公民館が特定の対象を定めて、主体的に実施してきた事業には、各種学級をはじめ、講座、教室、年中行事等があり、それぞれに成果の認められるところですが、この本を読み進むにつれ、このほかにも時代を投影した多様な活動分野があり、実にユニークで先進的といえる活動事例のあることを知らされます。

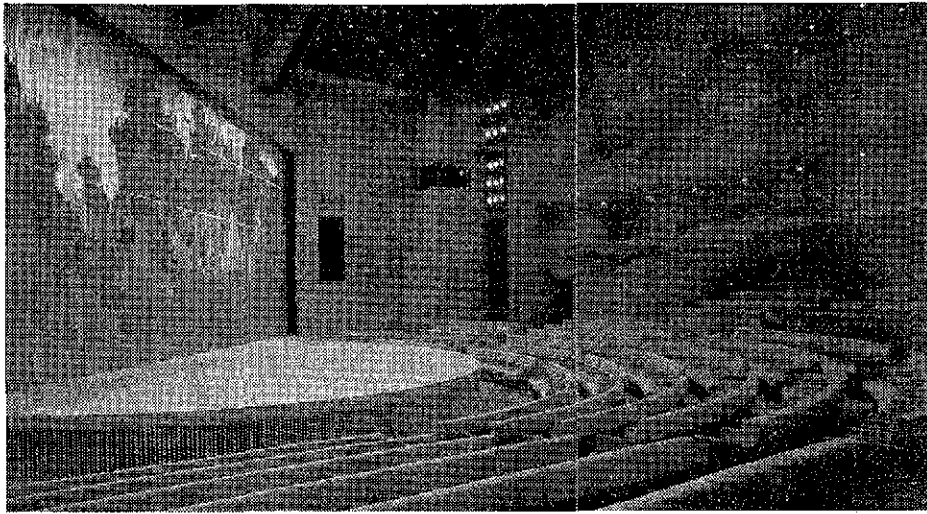
また、ひとつの事業の成否というものは、単に予算が潤沢であるとか、参集人数が多かったというなどで評価されるものではなく、そこにいたる過程での積み重ねによって、自他ともに触発される内容があり、そのことが個を超えて新しい潮流を生み出していくポイントになっているのだということも知ることができるでしょう。

そのように考えながら、いま公民館活動の本質をひとくちで表現しようとすれば“集い学び結ぶ”となるようにおもいます。本書のタイトルに採り入れたゆえんであります。

本会会報の新潟県公民館月報が、県内の公民館の活動事例を紹介する目的で「公民館活動実践記録シリーズ」を連載して以来、すでに5カ年を経過していますが、本書に登載したものは、これとは別に本会が社会教育法施行30周年を記念する事業のひとつとして企画した「公民館活動実践記録集刊行計画」によって応募された市町村公民館からのオリジナルな草稿を核として構成されたものです。

社会教育は、“相互教育”だとも申します。この本が県内の公民館人のみならず広く利用者の皆さんとともに、相互に教え励ましあうためのテキストの一本として大いに活用されるよう期待するものであります。

西親教育二十年体制をめざす 学校と密接に連携	川西町公民館
親子公民館活動に発展	京ヶ瀬村公民館
(3) 放送利用教室 ビデオの活用視聴 近代施設で「しつけの勉強」 放送利用学習の模範	塩沢町公民館
「1・2の3ちゃん学級」すべり出す	塩沢町公民館
三、青少年教育の展開	
(1) 在学青少年 ジュニア・リーダー養成に力点 子ども会の主体性を育てる 入選発表に「ヤッター」 少年句会や将棋指導を継続 子どもたちの風情	上越市公民館 見附市鶴巻公民館
親子の伝統の総合芸術学習 やる気を起こさせる	白根市中央公民館
好評「少年リーダー研修会」 イン・リーダーと合同キャンプ 仕事分かんない自信深める	中之島村公民館 頸城村公民館
活躍する緑の少年団 自然に学びつつ郷土愛育つ	黒川村
野年にかえる「ニジマス祭り」 強き引き出した自然に親しむ事業	守門村公民館
(2) 組織活動 四つの目標打ち出す	
社会参加による自己啓発へ 子供会とつながる運動	新井市公民館
公共施設の清掃・草取りも継続 ヤングフェスティバルで集う	中条町
団結した青年団・グループ・サークル 小須吉町中央公民館	
四、健康教育の方法 (1) 新成人 ふるさとを愛する新成人 大成りだった「さくらハイキング」	新津市公民館



大会主会場となる
新発田市民文化会
館の大ホール。
収容人員1,002席

関公連大会実行委 分科会運営など協議

さる六月十八日、新発田市中央公民館で第21回関東甲信越群公民館大会運営のための実行委員会が開かれた。これは大会のメインイベントとして速報の発行なども予定している分科会の運営などについて、よく記録者として香臨された下越地区公連の対策者(主事クラウ)約三十名による相互協議と地元教委、公民館などのスタッフによる各担当分野における内容検討と相互に全体の流れを認識しあうために開かれたもの。

この日は、運営の中核となる新発田市民公民館全職員、下越公連の執行部正副会長などが顔をそろえ



新発田市民公民館で開かれた関公連大会
実行委員会

たほか、石井耕一本会長もかけつけ地元へのあいさつを兼ね、全者の目をひくものと思われる。

スタッフに対し大会成功への激励のことばが述べられた。
協議終了後、主会場となる同公民館、同市民文化会館(伊勢)の新しい施設を写真、その近代建築のすばらしさに見入っていた。とくに開会式が行なわれる大ホールは設計、音響効果も第一級で参加

関公連大会(八月三十日)に大会主会場の新発田市民文化会館でパネル討論が行なわれることになっているが、講師も予定を相対し、全国の茶の間で親しまれている市川弘新編入学助教である石井一豊市長、藤井ヤヨイ新編んな同会会がみられるかたの

関公連大会(八月三十日)に大会主会場の新発田市民文化会館でパネル討論が行なわれることになっているが、講師も予定を相対し、全国の茶の間で親しまれている市川弘新編入学助教である石井一豊市長、藤井ヤヨイ新編んな同会会がみられるかたの

関公連大会(八月三十日)に大会主会場の新発田市民文化会館でパネル討論が行なわれることになっているが、講師も予定を相対し、全国の茶の間で親しまれている市川弘新編入学助教である石井一豊市長、藤井ヤヨイ新編んな同会会がみられるかたの

パネルディスカッション 司会にNHK加治アウンサー

石井耕一メモ ⑬

中国歌紀行 (1)

香港(五月十七日~十八日)
直行列車鉄橋渡れば中国領入国手続きは広州
駅とか

広州(五月十八日~十九日)
列車長男女各一物売りのおさげの娘も国家公務員

入国も出国もまたフリーパス税関検査なき歓迎ぶりとか

広州は広東省の首都人口は三百万の大都会なり

アヘン戦争の舞台はこの地孫文ら民主革命の戦士の出でし地

五千年の歴史を秘めし出土品何を語るか広州博物館

毛・周は左に右はスターリン、マルクス・レーニン像博物館ホール

博物館出すれば既に日暮れなり中国初夜は広州賓館

ふと気付く求餐泊める船なり外人ホテルは何々賓館

着くまではその地の旅程不明にてすべて中国旅行社の指示

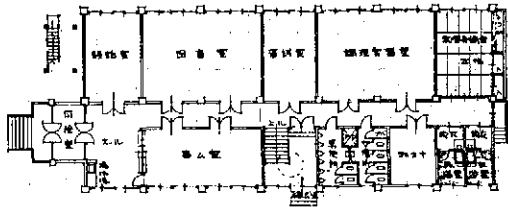
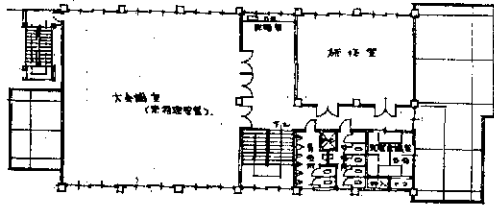
博物館を見たるのみなり明朝に旅程くりあげ出発せよと(作者は本会会長・豊栄市長)

新拠点

つた施設整備

イ 事業の概要

- ・建物構造 耐火被覆鉄骨構造2階建
- ・建物面積 1階412.80㎡ 2階364.50㎡
延面積807.30㎡



1階床面積	412.80㎡
2階床面積	364.50㎡
延面積	807.30㎡
建築面積	442.80㎡

1階平面図 1:200

伊保ヶ崎の公民館平面図

- ・事業費 9,640万円
 - ・建築工事費 8,400万円
 - ・初度調弁費 1,026万円
 - ・事業費等 214万円
- ・工期 自昭和53年6月28日
至昭和54年3月31日

小出町公民館

館長 井口 字八 電話 (02579) 2-0009
〒946 北魚沼郡小出町大字小出島130-1

・施設の概要

1階	事務室	40.50	1階	談話室	31.50
1〃	図書室	63.00	1〃	資料室	31.50
1〃	調理実習室	63.00	1〃	和式会議室	37.81
1〃	便所	24.30	1〃	浴室・脱衣	20.25
1〃	物置(2室)	36.45	1〃	風除室	11.25
1〃	ホール	29.25	1〃	下	54.00
2〃	大会議室	182.25	2〃	階段	20.25
2〃	研修室	63.00	2〃	ホール	31.50
2〃	和式会議室	16.20	2〃	下	27.00
2〃	便所	24.30			

(3) 移動公民館の概要 (53年4月購入)

ア 購入車両

- ・コロナバン
- ・53年式H-R T 108 V
- ・トヨタ自動車
- ・1,808 cc
- ・300 kg
- ・5人乗
- ・全長 4,320mm
- ・全幅 1,610mm
- ・全高 1,420mm

イ 購入費

- ・車両本体89万円
- ・アンブー一式5万円
- ・総額94万円

小出町では、以上のように長期計画に基づき公民館の整備を図っている。これと期を同じく、各地区に集落センター等7施設整備され、社会教育活動の拠点となっている。

(小出町派遣 社会教育主事 今井秀司)

「視察に適した公民館」の一覧も掲載

◇社会教育法

施行30周年記念出版

全国公民館名鑑

社団法人 全国公民館連合会 編

★体裁 B5判・四〇〇頁

★定価 二、八〇〇円

(送料別)

●54年6月10日現在の全国の公民館を収録した最新内容。

●各公民館について、その所在地、館長名、専任職員数、規模、分館数等を記載した。

●各公民館名簿だけでなく、都道府県公民館連合会名簿、公民館振興市町村長連盟会員名簿も併せ掲載した。

申込先

県公民館連合会

TEL 0252-246073

実践記録集から

各地区ごとに

本号2・3面に紹介した公民館活動実践記録集の「集い学び結ぶ」第一章<公民館経営>から小出町公民館のレポートを転載紹介する。

年次計画に乗



(小出町中央公民館と移動公民館)

公民館活動の充実、人・物・金であるといわれている。とりわけ施設設備については公民館活動の拠点として重要な役割がある。公民館といっても名称だけで独立施設は手遅れの現況である。そこで小出町では、長期計画を立て、着実に公民館建設に取り組んできた。

1. 長期施設整備計画抄 (昭和47年度)

社会教育の現状は、体制整備のおくれ、施設の貧困が目立ち、公民館にしても公的公民館は、本館1、支館1で、しかも名称だけで独立施設のない現状である。そのため、教育環境を整備し、幼児から高齢者にいたるまでそれぞれの段階で、個人の学習要求に応じられるような生涯教育体制を確立することを日課とする社会教育施設および体制整備を次のとおり計画した。

(1) 公民館の整備

中央公民館・伊米ヶ崎・千溝・青島にそれぞれ地区公民館を建設し、区域内住民を対象とした事業の実施および住民の学習活動に対する便宜を供与する。

移動公民館を整備し、講師・関係職員の輸送・教材・教具・資料等の運搬・広報・宣伝・周知活動をはかる。

(2) 社会教育施設整備計画

整備予定施設名	推進政策年度				
	53年度	54年度	55年度	57年度	58年度
中央公民館	着工開設				
伊米ヶ崎	着工	開設			
千溝				着工	開設
青島					着工
移動	購入				

- 2. 公民館施設の概要 (52年度用)
 - 公民館本館九福祉センター内) 1館
 - 伊米ヶ崎支館 1館
 - 分館 (類似) 21館

3. 公民館建設

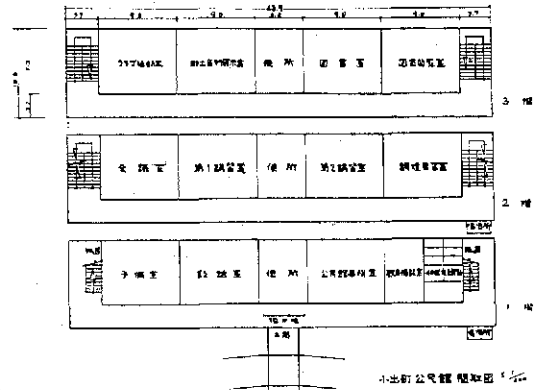
(1) 中央公民館の建設概要

小出小学校の移転により校舎の一部を中央公民館に用途変更をし活用をはかる。

ア 事業の概要

- 建物構造 鉄筋コンクリート構造 3階建
- 建物面積 各階 489㎡ 延面積 1,467㎡

- 事業費 3,250万円 (用途変更工事費)
- 工期 昭和53年8月～同年10月
- 施設の概要 (図面)



(2) 伊米ヶ崎公民館の建設概要

ア 伊米ヶ崎公民館を建設する理由

小出町では、昭和47年度に小出町と湯之谷村が共同して設置した小出郷福祉センター内に中央公民館を開設し、小出町の全体の社会教育の推進のために活用してきた。しかし、伊米ヶ崎地区は、中央公民館から4km～8kmの遠隔の地にあり、しかも小出町人口の20%を占めている。この地区には、小出町役場伊米ヶ崎支所内に公民館支館を設置して活動の推進をはかってきたが、施設設備が十分でないため、充実した活動の展開が望まれない現状である。この地区のより充実した社会教育活動の実現をはかるとともに、住民の憩いの場として十分に活用できる施設として公民館を建設する。

あの頃のこと

思いつくままま
佐野 勇

ナトコ公民館

敗戦、虚脱感、無秩序、進駐軍
復員、ヤミ市、タケノコ生活、ド
プロク……不安定な世情の中でも
やや平靜を取り戻ししかけた昭和
二十五年、町職員の時命を受け
間もなくある日、兼務公民館
主席を命ぜられ、非常勤館長と兼
務職員一名の最少限の発任によ
て、遅ればせな



がら名ばかりの
河原田町公民館
が発足したので
ある。

民家の一隅を
借りて若干の図
書を蓄え、貴家のおぼろげに図書
の世話と圖書番、雑用一切をお願
いし、公議や集会は小学校を借用
して夜間活動するという青
空公民館で、「公・民・館」とは
何かとについての勉強を始めた
が、まもなく見当がつかず、途方
にくれたものである。

の公民館像を描き、レールを敷き
ながら一歩一歩進むという心細い
毎日であったが、公民館活動の基
礎づくりには連日遅夜打ち込み、名
表ともに馬内のリーダーとして信
望を得ていた県出張所の島川鉄二
先生（県社会教育主事）故人を
師とし、直接間接のご指導を得て
今日の公民館に至ったことを想う
とき、感慨一しおのものがある。

当時は、先ず
人を集めるこ
と、そして集ま
った人たちに公
民館を知って
もらうための唯
一の手段として類
似した経験をも
たれた。米軍から
貸与されたナトコ映写機が地区ラ
イブラリーに二三台配置されて
おり、これを各町村が競って活用
したものである。

暗幕などの設備がなく、集会は
夜が暗幕であった。時の映写会は
専ら夜間で、会場は学校体育館や
公会堂などを利用するのが一般的
であったが、終戦後ではある面
で町生活が壊れられ集集も限ら

無常

陽春だというのに今朝はすこし
寒い
亡き母があわい光となつてかがよ
いながら
ほくにつきそりて歩いてくる

浅間 勝衛

車内にはいと
ぼくはいつものように自分の心の
暗かりをのぞきこむようにして
命の火をみつめる

ゆらめく燈
あわれ人は死にいたる病を病むと
いう
かぎりあるいのちのはてにぼくの

母もまた
光のなかに消えた

中窓はるかに空はあわあわと晴れ
ていながら
非情に
ただ
どこまでも続いている

(元糸魚川市公民館長、
岩槻市在住)

機をかついで廻ったものである。	公民館(建物)活動	昭和三十四年から四十二年まで	の間再び公民館主事、社会教育主 事として勤務することになった。	長い間の公民館関係者の意欲がよ うやく叶って公民館が建築され、 着任の初任事が落成式であった。	この時は、名の常勤本務職員とい う充実(?)した体制であり、建 物を中心とした公民館活動が展開 された。その利用状況の一部をみ ると	
年間七九七回 四六、六〇〇人	公民館使用の実態	35年度	年間八七八回 三六、四九四人	公民館使用の実態については、 当町が島内の中心に位置し、陸上 交通の要という立地条件による動 向が、島内対等の諸会台で多用 されたためのもので、公益的なの 性格を併せもった施設であり、こ のため、本館の維持に追われたが、本公 民館の宿命であると思う。	37年度	年間四三三回 一〇、一七六八 人
年間七九七回 四六、六〇〇人	公民館使用の実態	36年度	年間六九四回 三三、三八〇人	公民館使用の実態については、 当町が島内の中心に位置し、陸上 交通の要という立地条件による動 向が、島内対等の諸会台で多用 されたためのもので、公益的なの 性格を併せもった施設であり、こ のため、本館の維持に追われたが、本公 民館の宿命であると思う。	37年度	年間四三三回 一〇、一七六八 人
年間七九七回 四六、六〇〇人	公民館使用の実態	35年度	年間八七八回 三六、四九四人	公民館使用の実態については、 当町が島内の中心に位置し、陸上 交通の要という立地条件による動 向が、島内対等の諸会台で多用 されたためのもので、公益的なの 性格を併せもった施設であり、こ のため、本館の維持に追われたが、本公 民館の宿命であると思う。	37年度	年間四三三回 一〇、一七六八 人
年間七九七回 四六、六〇〇人	公民館使用の実態	36年度	年間六九四回 三三、三八〇人	公民館使用の実態については、 当町が島内の中心に位置し、陸上 交通の要という立地条件による動 向が、島内対等の諸会台で多用 されたためのもので、公益的なの 性格を併せもった施設であり、こ のため、本館の維持に追われたが、本公 民館の宿命であると思う。	37年度	年間四三三回 一〇、一七六八 人

筆者の横顔
佐野さんは真直、酒脱、重厚の
雰囲気をもつ、うってつけの公民館
主事であった。佐和田町公民館草
創期から関与、十年以上の経験をも
つパトランであった。四十年こ
の國際保護のトキが佐和田町で
捕獲されたことがあったが、この
ときの窓口となつて活躍し、一躍
トキ主事として内外に知られる。
その後、同町議会事務局局長、左
邊広域町村圏組合事務局局長、商
工観光課長などを歴任、現在同町
建設課長。

あとがき
関東甲信越静公民館大会(新
潟田市会館)への参加申し込み
はお済みでしょうか。会場とな
る新潟市市民文化会館(公民館
と併設)はすばらしい文化施設
です。この施設を見学するだけ
でも参加の意義は大いと思ひ
ます。また第一目のパネル討
議は、そのとうなる議論メンバ
ー十八人に対する司会者として、
NHKの人気アナウンサー加治
章氏が内定しました。
久しぶりに開かれる大きな大
会です。この機会にぜひともご
参加くださいますようお願い申し
たしております。(本)